

## ●波と水質のよさ魅力

串間市大納の「恋ヶ浦海岸」は、全国的に知られたサーフィンのメッカである。澄み切った空と海。都井岬の北に位置し、大きくて高い波を求めて若者たちが集まる。

恋ヶ浦はその昔、都井岬の付け根に当たる、すぐ近くの「宮之浦」に漂着した後鳥羽上皇が朝夕、海のかなたをはるかに望み、都をしのんでいたところといわれ、いつのころからか恋ヶ浦と呼ばれるようになったという。

名前の通りロマン漂う海岸で、上皇にちなむ伝承も多く残されている。近くの鳥羽地区には上皇が漂着した「御着場」があり、その海岸に「御着岩」という小さな岩がある。尊い岩として今でも地区の人はこの岩に近づかないという。また人家と海岸の間にある百平方メートルほどの畑は、仮御殿の跡とされ、御成場（おなりば）と呼ばれる。



サーフィンのメッカ。全国から大きな波を求めて若者が集まる

恋ヶ浦がサーフィンの好ポイントとして全国に知られるようになったのは、もう二、三十年前のこと。恋ヶ浦海岸のすぐ近くで民宿を営む田中友二さん（四八）によると、大阪のプロサーファーで、浮本和也という人が、近くの市木に住み込み、仲間たちにその素晴らしさを紹介したことが大きいという。また、テレビで全国放送されたこともあり、その名が知れ渡った。

日向灘に臨む本県には、多くのサーフポイントがある。宮崎市・木崎浜は世界プロサーフィン大会が催され、日向市の金ヶ浜とお倉ヶ浜も人気のポイント。川南町の伊倉ヶ浜には温水シャワー、トイレを整えたサーフィンセンターがある。高鍋町・蚊口浜では毎年、サーフィンコンテストや学生サーフィン選手権大会が開かれている。

県南で唯一の適地とされる恋ヶ浦海岸は、安

定した波と水質のよさが魅力。それに冬でも寒さ知らずで、サーフィンの条件を満たしている。

サーフィンに適した波の状態に詳しい田中さんは「低気圧の前線が鹿児島から都井岬の沖合を通るときが波も立ちやすく、押し返す力も大きい。このときがサーフィンには最もいい。季節では春から夏にかけてと、秋口の九月までが特にいい」と話す。宿泊の常連であるサーファーには逐次、波の状況を電話で知らせている。

夏には同海岸を通る国道448号に県外ナンバーの車が並ぶ。中には週二回、土、日曜日にかけて何年も通い続けているサーファーもいる。「波がいい。最高のポイント」。彼らは口々に褒める。

三又 喬